

GEカレッジ活動紹介

■ GE カレッジとは... ?



Global
Environment
College

このロゴマークは、地球とそれをとりまく環境を表しています。

新日本気象海洋は 30 年以上にわたるの環境に関する調査・研究・コンサルタントを通じて、「新たな環境技術の構築と理論の確立、学問的体系化」の必要性を痛感してまいりました。つまり、日本国内のみならず、世界レベルにおいて、学術的に研究されている最新の環境技術が即実践的に活用・応用され、地球環境に貢献するための英知と技術を体系的に集結することが大事であるとの認識です。

地球環境カレッジ（通称：GE カレッジ）は、①よりグローバルな視野を持った、環境に関する専門化の教育・育成、②環境に関する調査・分析・解析等の技術の研究、③環境に関するセミナー等の開催、④環境教育に役立つ教材の企画・製作・販売活動、⑤地域社会での環境保全に関する普及啓蒙 を通じてこのことを達成するために 1996 年 11 月に設立されました。

■ 活動内容

セミナーの開催

GE カレッジでは、環境に関連するテーマあるいは技術者・研究者のモチベーションを高めるテーマについて、さまざまな分野から第一線で活躍されている講師を迎えて、新日本気象海洋の社員を対象とした定期的な講演会を開催しています。これまでお迎えした講師は 40 人のほり、聴講できなかった職員の教育のためには講演録を作成しています。



これまでの講演会は AV 設備が整っている環

境情報研究所（横浜市都筑区）を中心に開催していましたが、このたび新本社屋（世田谷区駒沢）に 210 インチスクリーンを備えた GE カレッジホールが整備されたことによって、講演会の内容や講師の一層の充実を図り、また一般に公開することも検討しています。

過去の定例講演会の テーマ別開催内容



社会システム
地球環境
行政・法制度
生物・生態系
水環境
環境リスク
技術開発



鈴木基之先生特別講演
ゼロ・エミッションを目指した
物質循環系の構築
平成 9 年 7 月 5 日

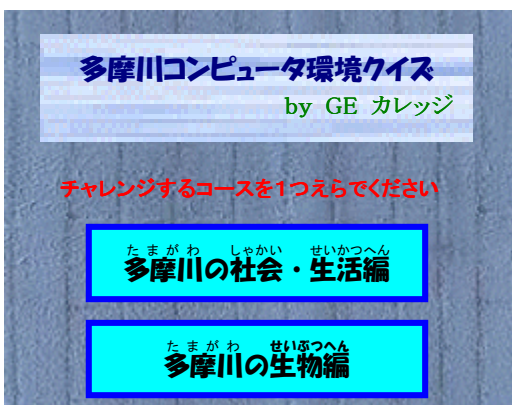
地域活動への参加

● 二ヶ領宿河原堰で交流する会・多摩川四ヶ領用水 400 年の会への参加

「二ヶ領宿河原堰で交流する会」は多摩川の狛江市と川崎市に挟まれた堰の改築を記念して、平成 11 年 3 月 27 日に実施されたイベントです。堰竣工式などの行政行事や兩岸の市民の交流を目的とする各種の市民行事が行われました。このイベントの実行委員会事務局としてさまざまなお手伝いをいたしました。

また、「多摩川四ヶ領用水 400 年の会」は徳川家康の命によって多摩川右岸の二ヶ領用水と左岸の六郷用水の工事が着工した 1597 年（慶長 2 年）から 400 年目の平成 9 年に設立されました。地域のパートナーシップによる河川新時代のモデルケールとして、流域の市民・行政・企業・学校等のそれぞれの活動の情報交換を積極的に行うことを目的としています。この会にも、ひとつの活動団体として、また事務局へと積極的に参加し、多摩川のほとりで成長した企業としての役割をはたして行きたいと考えています。

● せたがや環境まつりへの出展（東京商工会議所世田谷支部への協力）



毎年初夏に開催される“せたがや環境まつり”に、これまで 5 年間、世田谷と多摩川の生き物・環境とくらしをテーマにした小学生向けのコンピュータクイズを出展しています。



このクイズは 10 問の 3 択問題に順に解答し、10 問正解すると商工会議所提供の賞品を GET！できるというものです。正解でも間違えても環境に関する解説をしており、毎年、親子が一緒になって取り組む姿が見られます。環境について考えるよい機会を提供しています。

● 多摩川生物観察



世田谷玉川社屋は多摩川と野川の合流点から歩いて 3 分に位置しています。GE カレッジではこの地の利を生かし、何らかの形で多摩川の水環境の継続的な記録を残したいと思っています。

大規模なことはできませんが、月に 1 回か 2 回二子橋の上流と下流に観察点を決め、植物、鳥、昆虫などの観察を実施し記録してきました。あいにく二子橋下流の橋梁工事により、河川敷の状況が変わったため、現在は中断していますが、再開の予定です。